

「受け手の気持ちを想像する」など、インターネットを利用する上で必要なルールを、子どもに伝えなければなりません。そのためにはまず、大人があふれる情報を的確に判断し、活用する能力を身につけることが必要です。

### 映画

#### 黒い雨 —放射能について考える—

1989 / 123分 / 日本

庶民の日常の生活を通して戦争をみつめ、被爆者たちの過酷な運命を、淡々と綴った作品です。

昭和20年8月6日、広島に原爆が投下され、20歳の矢須子は叔父の家に向かう途中、小舟の上で黒い雨を身体中に浴びてしまいます。5年後、矢須子は叔父夫婦と小さな村で暮らしてました。叔父の悩みは自分の身体より、矢須子の縁組でした。美しい矢須子の元へは絶えず縁談が持ち込まれますが、必ず「ピカを浴びた娘」という噂から破談になってしまいます。叔父夫婦は、矢須子を預かる身でありながら嫁がせることができず自責の念にかられますが、かえって矢須子との絆は強まり、実の

### 朗読

#### 詩人

#### 「新川和江」をよむ

読み人 市民

戦時中の女学校時代に西條八十に師事し、女性の詩人の支援もしてきた新川和江。「わたしを束ねないで」の一節に「わたしを名づけなないで娘という名 妻という名 重々しい母という名でしつらえた座に 坐(すわ)りきりにさせないでください」とあります。司会の方は「男性中心社会へのしなやかな反論でしょうか」と紹介されていました。

読み人である18名の市民のみなさんは、自分で選んだ詩を朗読し、選んだ理由や感じたことも話されました。読み人それぞれへの思いが詩に託され、気持ちのこもった朗読に胸が熱くなりました。

(片寄)



全員で朗読

### 音楽

#### みんなで歌おう会

指導：島袋 良彦さん  
ピアノ：中村 知子さん

夜間の開催にもかかわらず、多くの方々で賑わいました。

まずは秋の歌から始まり、前半は島袋さんがリコーダーやタンバリンやトライアングルやカスタネットなどを演奏されて、さびの部分を通り返して歌って楽しみました。後半は3人の子どもたちが前に出てアニメの主題歌をみなさんと一緒に歌ったり、全員で口笛を吹いたりする場面もあって楽しく盛り上がりました。

島袋さんの軽快なトーク、中村さんの美しいピアノの伴奏に全18曲皆さんで歌い、笑顔が溢れた楽しいひとときを過ごしました。

(小松)



花いっぱい会場



島袋さんのリードで歌うみなさん

### 登録団体展示・バザー

男女共同参画センター(アイレック)の17の登録団体のうち、12団体が、日ごろの活動の様子などをイラストや写真を入れて展示し、多くの方が興味深く見ていらっしゃいました。バザーも5団体が出店しました。

またアイレックまつり実行委員会主催のバザーは、今年も大勢の協力のもと、前日の値札付けや会場準備が行われました。

当日のバザー会場9時半の開場とともに、早い時間からたくさんの方が来場され、にぎわっていました。売る人と買う人の話はずみ、いろいろな方々の出会いの場にもなっていました。

(下神)



前日の値札付け

### バザー用品 提供のお礼

75号でお願いしましたバザー用品の提供につきましては、たくさんのご協力をいただきまして、ありがとうございました。バザーは盛況のうちに終了することができました。売上金は、アイレックまつりの運営に活用させていただきます。